

夜

夜をまさぐると
かき乱された闇が粘液状になって
僕の指にまとわり付き
もっと、もっと、と喘ぎを漏らすのだ

夜をまさぐると
押し込められていた生のわななきが
焔を求めてのたうちまわり
絶望を焼き尽くそうと躍起になるのだ

しん、とした部屋の中に横たわる者が居る
そいつが僕をじっと見つめている
哀れげに
そして同時に、冷徹に

真っ白であるということと
真っ黒であるということとは
何の違いも無い、と
意思の向こう側で書き留める者が居る

あらゆる制度が無意味となり
保存は不可能となる
すなわち常に創造し
即座に消費しなければならない

夜をまさぐると
我々の創造物は存在意義を失い
我々自身が持っているものだけが
再び目覚め、活動を始める

行き止まりとなった歴史は既に
逆方向に向けて回転を始めている

夜が近づいている

(2009.2.28)